

平成28年度 看護部事業計画 院内研修実施報告書

教育目的: 看護部職員一人一人が責任ある良質な看護が提供できる

- 教育目標:
- ①専門的知識、技術、態度を高め実践能力を養う
 - ②問題解決能力、指導能力を高められる人材を育成する
 - ③チェックリスト、看護基準を全スタッフに浸透し統一した看護、指導ができる
 - ④一人一人が主体性を持って生き生きと看護活動にのぞめる

研修名	開催日時	参加者	ねらい	担当・講師	評価
糖尿病について(1回目) (外来担当)	5/25(火)	看護職員 21名 介護職員 9名 リハ職員 20名 MSW 0名 他部署職員 5名	糖尿病における低血糖症状を知り、低血糖症状に対応できる知識を学ぶ	守田医師	糖尿病治療をしていることを意識し、注意して見て行かなければいけないと認識できた。 また、リハビリ中、低血糖症状の注意点や対処法を学べた。発熱などで、血糖コントロールが悪くなることも学べた。
糖尿病について(1回目) (外来担当)	5/31(火)	看護職員 20名 介護職員 3名 リハビリ職員 0名 他部署職員 0名	糖尿病における低血糖症状を知り、低血糖症状に対応できる知識を学ぶ	守田医師	治療を進めるにあたって、病期と付き合っていく上での心のサポートの必要性も学べた。 患者様を取り巻く環境を知り、寄り添った看護が必要だと改めて認識できた。
経腸栄養について (3階病棟担当)	9/8(木)	看護職員 17名 介護職員 9名 リハビリ職員 0名 他部署職員 1名	栄養剤の選択方法、排泄との関連性を知り、対応できる知識を学ぶ	テルモより	勉強会の設定を昼休みに設定したことにより、参加しやすかったのではと思う。(休憩のコントロールなど、各部署では大変だったと思います)また、第一回目の質問で上がった内容を次回で回答頂き理解が深まったのではと思う。
経腸栄養について (3階病棟担当)	9/14(水)	看護職員 19名 介護職員 2名 リハビリ職員 0名 他部署職員 0名	栄養剤の選択方法、排泄との関連性を知り、対応できる知識を学ぶ	テルモより	
介護保険制度 (4階病棟担当)	10/17(月)	看護職員 22名 介護職員 9名 リハビリ職員 17名 他部署職員 6名	退院支援の際、ケアマネ・介護保険・サービス内容について患者・家族への案を提案するために具体的な内容・流れを知りたい	下永谷地域 ケアプラザ	・介護保険サービスの利用方法について、寸劇を交えてより分かりやすく学ぶことが出来た。 ・自宅退院に向けて、生活面で何の支援が必要か、又退院日からすぐにサービス利用ができるよう入院時から確認し、患者様の状態に合わせた退院指導の必要性について学ぶことができた。
看護協会受講者伝達講習会 (教育委員会担当)	2/20(月)	看護職員 21名 介護職員 1名 リハビリ職員 4名 他部署職員 1名	知識・情報の共有	研修受講者	当院は日本糖尿病認定医が在籍しているため、看護師が日本糖尿病療養指導士の資格取得のチャンスがあること。外来看護師は現在神奈川県糖尿病療養指導士の資格がとれる講習に積極的に参加。学んだ事が、資料等を糖尿病外来フォローで活用していることを知る事ができた。 記録は自身を守る道具であり、感情的な記録を避けて客観的な視点のみ記録をすることが重要であることを知る機会ができた。

各部署(師長)よりの評価

3階病棟～院内研修の内容については各部署で多く係わる内容のものがセレクトされており、なじみやすかったのでは。他部署の性質の理解にも繋がると思う。
又、回教についても1項目+年度末の講習会total4回であった為参加しやすく、負担少ないことで良かったのではと思われる。

看護協会受講者についてだが、誰がいつ、何の研修うけたのか、委員会での問い合わせで情報提供収集にて、チェックしているがわかり難く、曖昧になっている部分があると思う。
分かりやすい仕組み作り、管理の仕方が課題の一つとしてあげられる。

外来～ 糖尿病については、患者様のサポートの重要性や、低血糖症状の注意点、対処法の再確認が出来、看護指導に役立つ講義だった。昼休み時間に行ったので、参加者も多かったが、勤務調整が難しかった部分もある為今後の課題。

4階病棟～今年度は、研修への参加を促さなくても、開催日を知らせる用紙を提示するだけで積極的に参加しようとする様子がありました。又、参加した研修で得た知識、アセスメントや退院する家族への助言等で役立っている様子もありました。
早番・遅番・夜勤入り明けでスタッフが勤務しているワーカーさんの出席は厳しい状態でした。来年度は、介護福祉士が主体となり、介護・ワーカーの視点での研修も導入することで、ワーカーさんのとつても研修に役立つような働きかけが必要に思われます。
介護保険制度など、実際業務で役立つ研修は今後も必要。
欠席者のレポートは、穴埋めではなく、研修内容について筆記してもらおうにした為、研修では何を言っていたかなどの質問をしている様子あり、良かったと思われま。